

プラチナに注目

プラチナ製の高級時計に新作モデル続々登場、昨年の宝飾品需要の成長支える



2025年の欧州のプラチナ宝飾品製造はプラチナとゴールドの価格差を背景に5年連続で伸びて推定で 6% 増えた。特に勢いがあったのが時計製造で、スイスの品位証明刻印の受付数量は前年第2四半期比で 28% 、前年第3四半期比で 3% 増加した。

欧州の高級時計ブランドの多くがプラチナに関心を持つようになってきているが、純度と密度が高く、酸化しないプラチナが高く評価されているからだ。昨年は、ロレックス、ショパール、A. ランゲ & ゾーネ、ヴァシュロン・コンスタンタン、クロノメトリー・フェルディナント・ベルトゥー、カルティエ、パルミジャーニ・フルリエといった高級ブランドが、最高級宝飾品に多く用いられてきたプラチナを使った新作デザインを発表した。

ロレックスは新しいオイスター・ペチュアル・ランドゥエラーコレクションに、純度95%のプラチナを使ったデザインを加えた。サイズは36 mm と 40 mm の二つがあり、プラチナ製にのみ使用する特別な色、アイスブルーのダイヤルのプラチナ製のケースとブレスレットからなる。

クロノメトリー・フェルディナント・ベルトゥーは、中東の有名な時計販売店である Ahmed Seddiqi との提携75周年を記念した新作モデルに

プラチナを選んだ。クロノメーター FB 3SPC.3-4 の 42 mm のケースはプラチナ製。

7年ぶりの高い水準

2025年の世界のプラチナ宝飾品の需要は前年比で7% 増えて 67.1トンとなり、ゴールドとの価格差のおかげで2018年以来最も多くなった。中国を始めとして世界各国の市場で需要が伸びたが、インドは米国の関税の影響で輸出が伸び悩んだ。



プラチナ製のクロノメーター FB 3SPC.3-4 (フロント)
写真提供: クロノメトリー・フェルディナント・ベルトゥー

今年のプラチナ宝飾品需要は、昨年は大きく増えた中国の勢いが弱まることが主因となって 63.3トンに下がる予測だ。北米では、プラチナの価格が高くて ゴールドとの価格差が需要を押し上げ、1% 増える予測となっている。

欧州の需要は昨年並みの予測だが、インドは不利な貿易環境が改善しないため前年比で 15% 減る予測。

Contacts:**WPIC London**

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Investor Development, bclifford@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com



免責条項: © 2026 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複写、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧説とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

